
2011年3月期 第2四半期 決算説明資料

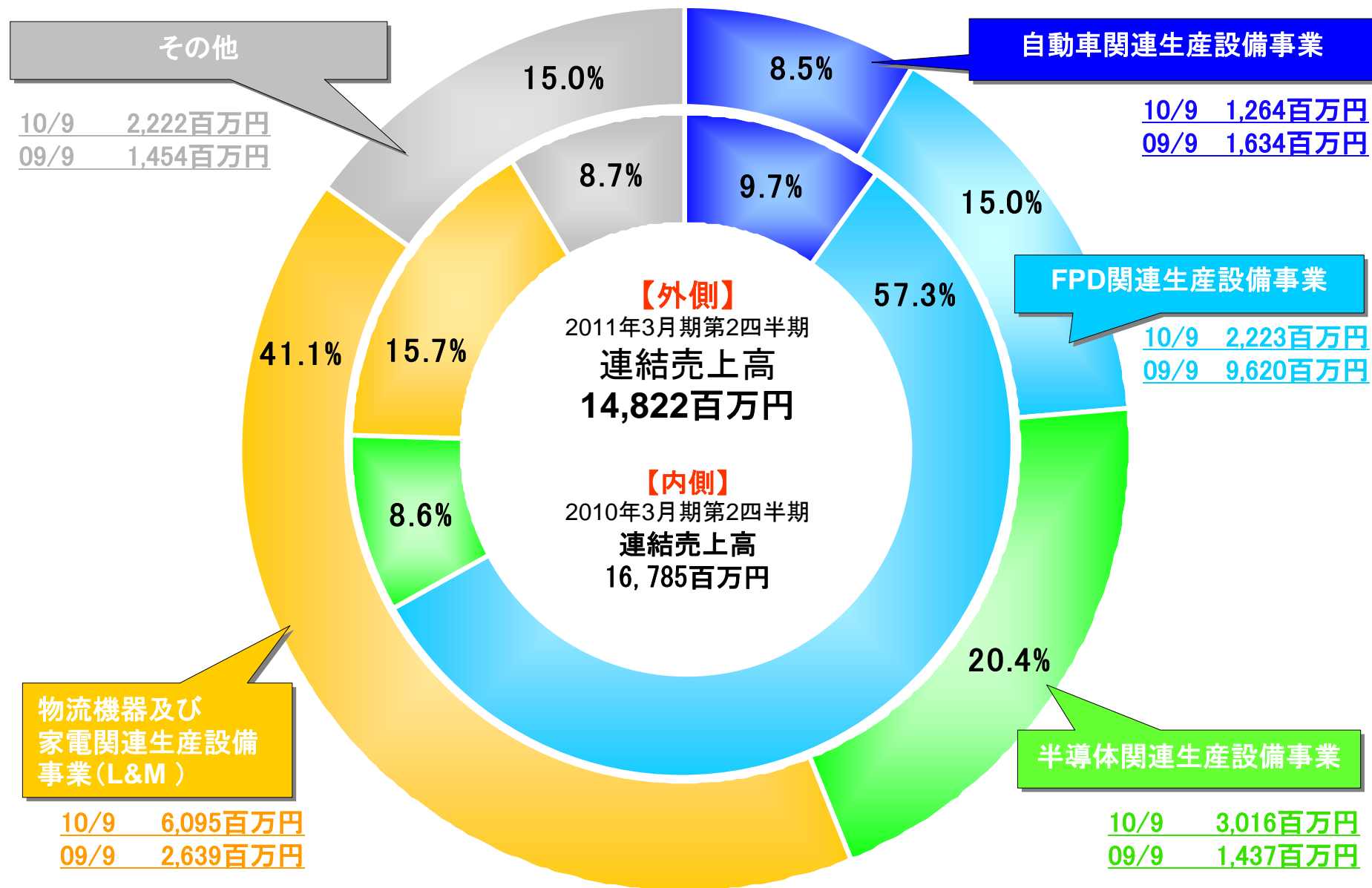
平田機工株式会社 2010.11.19



I 決算状況

2011年3月期 第2四半期（2010年9月30日）

I 決算状況 事業部門別売上高構成比



I 決算状況 決算概要

決算概要

- 売上高は、半導体関連、物流機器及び家電関連が堅調で前年同期比増収。
自動車関連、FPD 関連において一部案件の受注・売上の遅れなどにより、全体では減収。
- 四半期純利益は、コスト低減、固定費圧縮、貸倒引当金戻入益などにより前年同期比増益。
- 受注高、受注残高は、半導体関連やタイヤ関連の好調に伴い大幅に増加。
- 受注高、受注残高の増加に伴い期末予想を上方修正。

(単位:百万円)

連結決算	2010年3月期		2011年3月期 第2四半期		増減率	
	第2四半期	実績	期首予想	実績	対前年同期比	対期首予想比
売上高	16,785		17,000	14,822	△11.7%	△12.8%
営業利益	297		100	137	△53.9 %	+37.0%
経常利益	241		0	54	△77.6 %	-
四半期純利益	260		100	398	+52.9 %	+298.5%
受注高	6,710			21,227	+216.3%	
受注残高	10,246			20,922	+104.2%	

【2011年3月期 通期業績予想】

(単位:百万円)

	期首予想	修正予想	対期首予想増減額	対期首予想比
売上高	34,000	40,000	6,000	+17.6%
営業利益	300	500	200	+66.7%
経常利益	100	300	200	+200.0%
当期純利益	125	500	375	+300.0%

I 決算状況 連結・単体の損益計算書対比

連結・単体業績対比

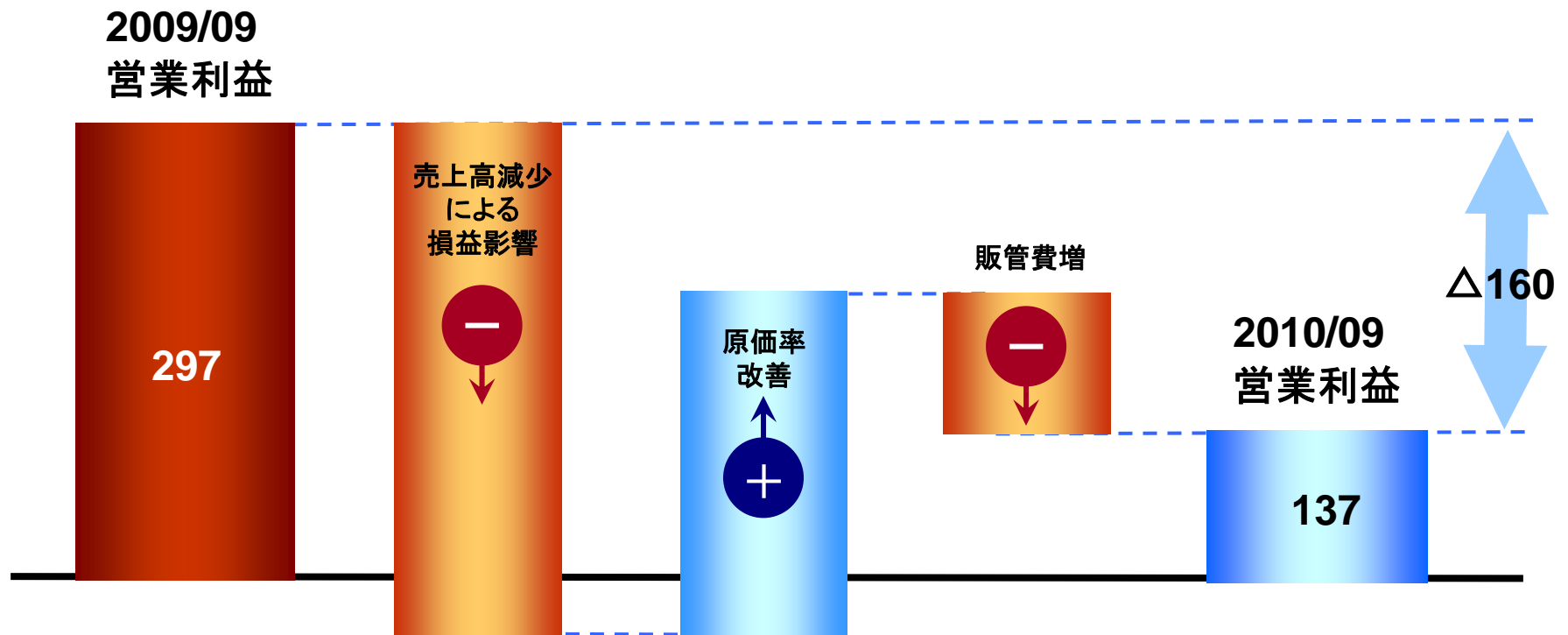
- 売上高は単体113億円に対し、連結では1.31倍の148億円。
- 売上原価の連単倍率は売上高とほぼ同様だが、販管費は1.81倍と高い(販売中心の子会社もある)。
- 営業外費用も連単倍率も営業外収益の連単倍率を上回り、経常利益では0.1倍と低い数値となっている。

(単位:百万円)

科目	単体		連結		連単倍率(倍)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
売上高	11,305	100.0%	14,822	100.0%	1.31
売上原価	9,346	82.7%	12,282	82.9%	1.31
販売費及び一般管理費	1,329	11.8%	2,402	16.2%	1.81
営業利益	629	5.6%	137	0.9%	0.22
営業外収益	77	0.7%	82	0.6%	1.07
営業外費用	136	1.2%	165	1.1%	1.21
経常利益	570	5.0%	54	0.4%	0.10
特別利益	185	1.6%	207	1.4%	1.12
特別損失	267	2.4%	6	0.0%	0.02
四半期純利益	570	5.0%	398	2.7%	0.70

I 決算状況 営業利益の増減要因分析

(単位:百万円)



I 決算状況

事業部門別実績 連結売上高

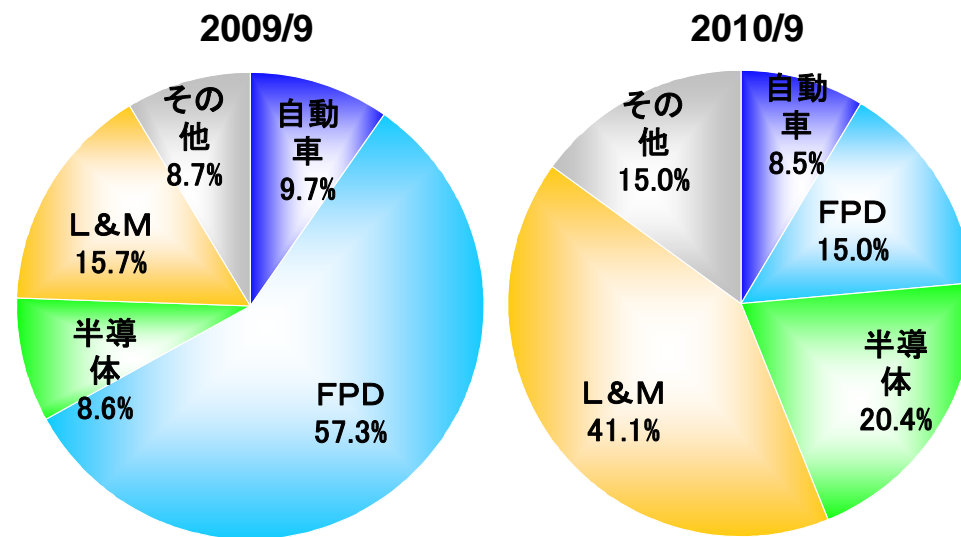
■ 自動車関連、FPD関連は減収となったが、半導体関連、L&M関連は大幅に増収。

- ・ 自動車関連設備は、北米向け大型案件が売上に至らず、国内向も低調に推移し減収(△22.6%)
- ・ FPD関連設備は、国内向けの低調に加え、予定していた海外案件の受注・売上が下期にずれ込み減収(△76.9%)
- ・ 半導体関連設備は、市場の回復に加え、大型の製造受託案件の売上計上により増収(+109.8%)
- ・ L&M関連設備は、タイヤ関連や家電関連が堅調に推移し、大幅に増収(+131.0%)

事業部門別売上高の状況

単位:百万円

事業部門	2009/9	2010/9	対前年同期比 増減率
自動車	1,634	1,264	△22.6%
FPD	9,620	2,223	△76.9%
半導体	1,437	3,016	+109.8%
L&M	2,639	6,095	+131.0%
その他	1,454	2,222	+52.8%
合計	16,785	14,822	△11.7%



I 決算状況 事業部門別実績 連結受注高

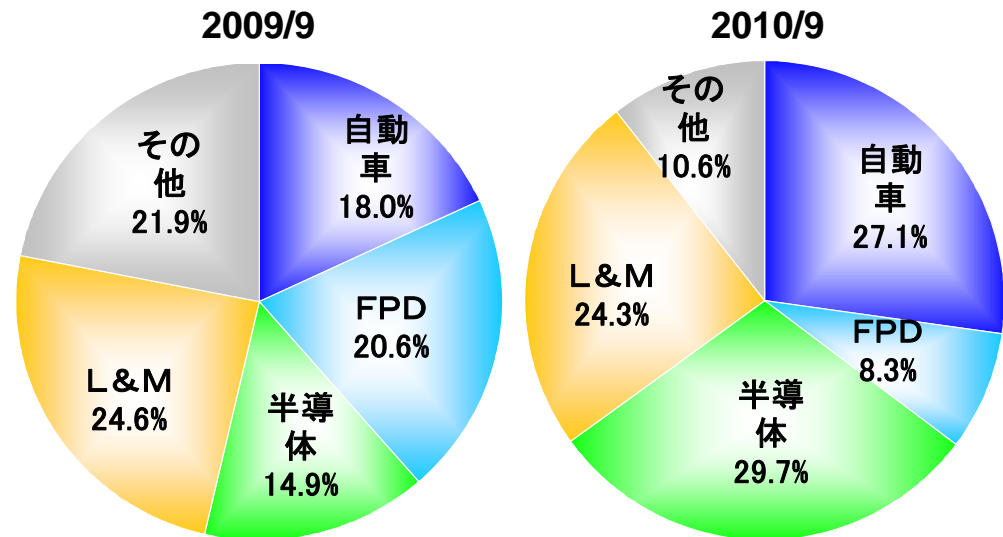
■ 大型案件を受注した自動車関連、市況の回復が進む半導体関連他、全事業部門で増加。

- ・ 自動車関連設備は、北米向け大型案件の受注により大幅に増加(+375.6%)
- ・ FPD関連設備は、国内の受注環境の回復が進まない一方で、アジアは比較的堅調となり増加(+27.5%)
- ・ 半導体関連設備は、市況の回復に加え、大型製造受託案件の受注により大幅に増加(+530.0%)
- ・ L&M関連設備は、家電関連、タイヤ関連が好調となり、大幅に増加(+213.1%)

事業部門別受注高の状況

単位:百万円

事業部門	2009/9	2010/9	対前年同期比 増減率
自動車	1,210	5,759	+375.6%
FPD	1,379	1,758	+27.5%
半導体	998	6,291	+530.0%
L&M	1,649	5,164	+213.1%
その他	1,472	2,253	+53.0%
合計	6,710	21,227	+216.3%

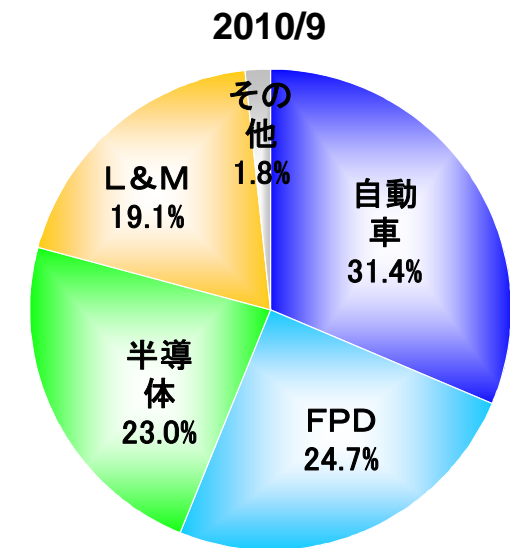
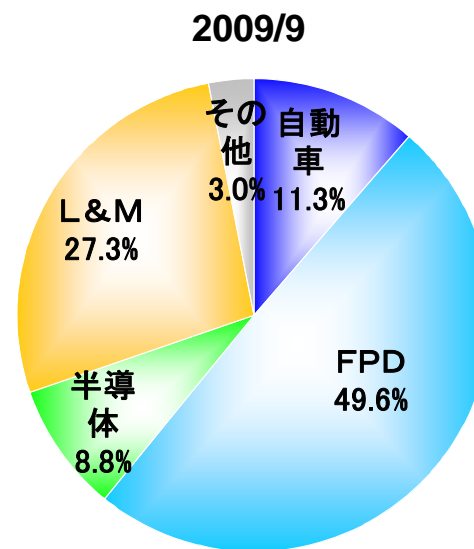


■受注高の増加に伴い、各事業部門とも増加。特に自動車関連、半導体関連の増加率が顕著。

事業部門別受注残高の状況

単位: 百万円

事業部門	2009/9	2010/9	対前年同期比 増減率
自動車	1,157	6,579	+468.4%
FPD	5,081	5,169	+1.7%
半導体	899	4,817	+435.6%
L&M	2,803	3,988	+42.3%
その他	304	366	+20.4%
合計	10,246	20,922	+104.2%



II トピックス

GM社より大型エンジン組立ライン受注

■ 7月20日、米国 General Motors Corporation (以下「GM社」)から新型エンジン組立ラインの大型案件を受注した件について公表。

<受注内容>

- ・GM社が戦略的に開発を進める直噴エンジン技術と最先端燃焼システムを採用した低燃費エンジンを生産するための組立ライン。
- ・受注高は約50億円で、2011年3月期から2013年3月期にかけて売上を計上する予定。

台湾半導体市場へ450mm製品を積極アピール

■ 2010年9月 SEMICON Taiwan 2010 に出展

会期： 9月8～10日

場所： 台湾 台北ワールドトレードセンター

<出展内容>

- ・450mmEFEMの試作機デモンストレーション
- ・製品動画の放映

台湾の半導体市場にてHirataをアピール



Ⅲ 市場動向および 2011年3月期業績の見通し

Ⅲ 事業環境

各事業分野とも景況悪化による環境悪化の懸念を抱えつつも、新興国需要等を背景とした設備投資拡大が期待される。

自動車関連事業

国内では、エコカー補助金制度の終了や円高によりメーカー各社の事業環境は不透明であり、厳しい受注環境が続くものと見込まれる。北米メーカーは、GM社の株式再上場や、それに伴う競争の激化による設備投資の活発化が期待される。

FPD関連事業

国内ではエコポイント制度の終了によるテレビの販売鈍化や製品価格の下落に伴うメーカーの設備投資意欲の減退も懸念される。中国市場では市場の拡大に伴い、更なる設備投資が期待される。

半導体関連事業

スマートフォンなど電子デバイスの販売の好調さを背景に市場の回復が続くものと見込まれる。一方で、メモリー価格の下落が続いており、設備投資の鈍化の恐れもある。

L&M関連事業

家電関連は引き続き、新興国需要が増加するものと見込まれる。タイヤ関連は、国内ではエコカー補助金制度の終了に伴う完成車販売台数の鈍化に伴い減少するものと見込まれるが、海外向けは新興国を中心に更なる成長が続くものと見込まれる。

太陽電池関連事業

アメリカ、日本、ドイツ、中国などを中心に需要の拡大は続くが、同時に新興国企業の参入による製品価格の下落も進むものと見込まれる。

※11月5日に業績予想の修正を発表しました。

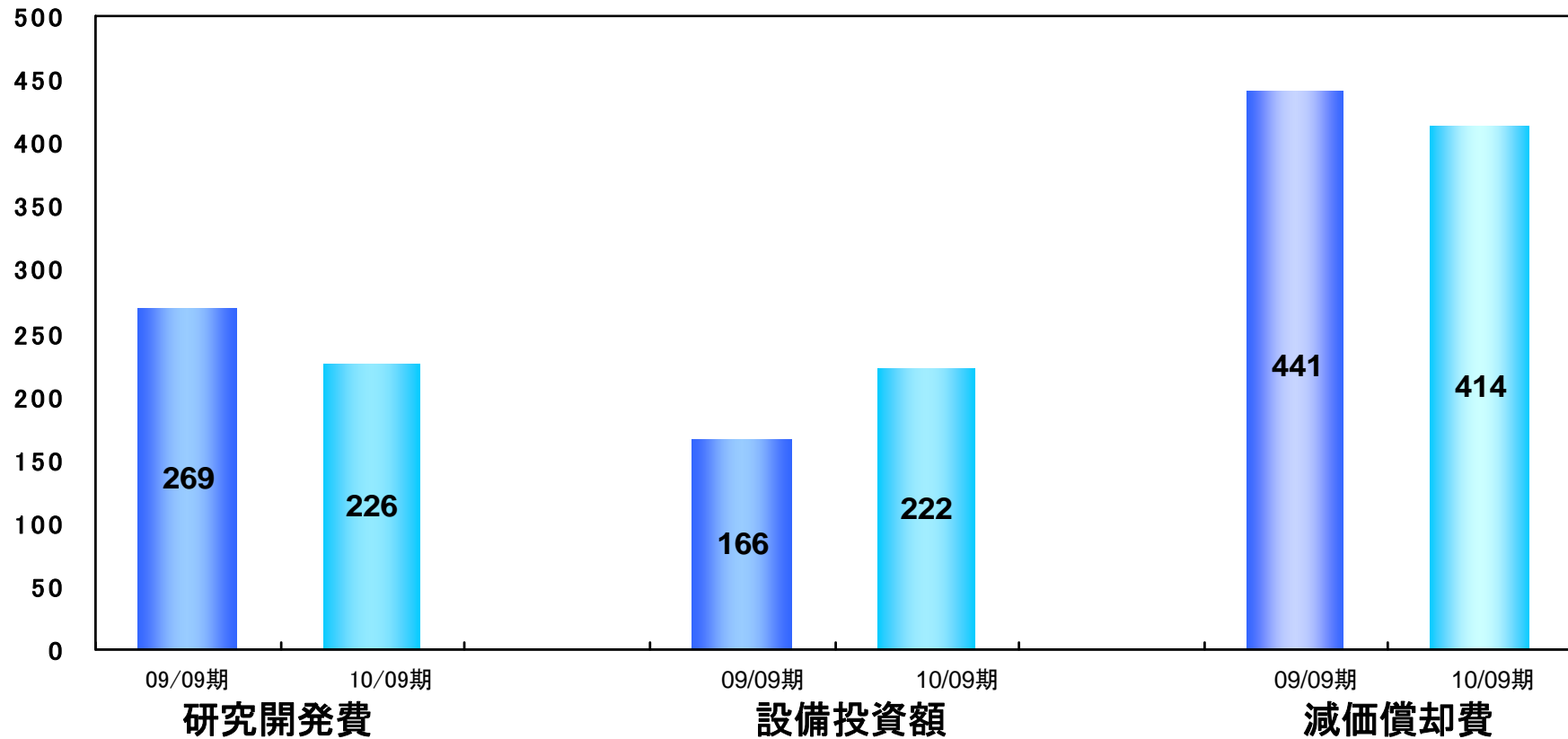
(単位:百万円)

	2010年3月期 実績	2011年3月期			
		上期	下期	通期	前期比 増減率
売上高	33,455	14,822	25,177	40,000	+19.6%
自動車関連	4,240	1,264	5,735	7,000	+65.1%
FPD関連	14,520	2,223	7,776	10,000	△31.1%
半導体関連	4,431	3,016	4,983	8,000	+80.5%
L&M関連	7,322	6,095	4,904	11,000	+50.2%
その他	2,941	2,222	1,777	4,000	+36.0%
営業利益(率)	364(1.1)	137(0.9)	362(1.4)	500(1.3)	+37.2%
経常利益(率)	180(0.5)	54(0.4)	245(1.0)	300(0.8)	+65.8%
当期純利益(率)	43(0.1)	398(2.7)	101(0.4)	500(1.3)	—

IV 参考資料

2011年3月期 第2四半期（2010年9月30日）

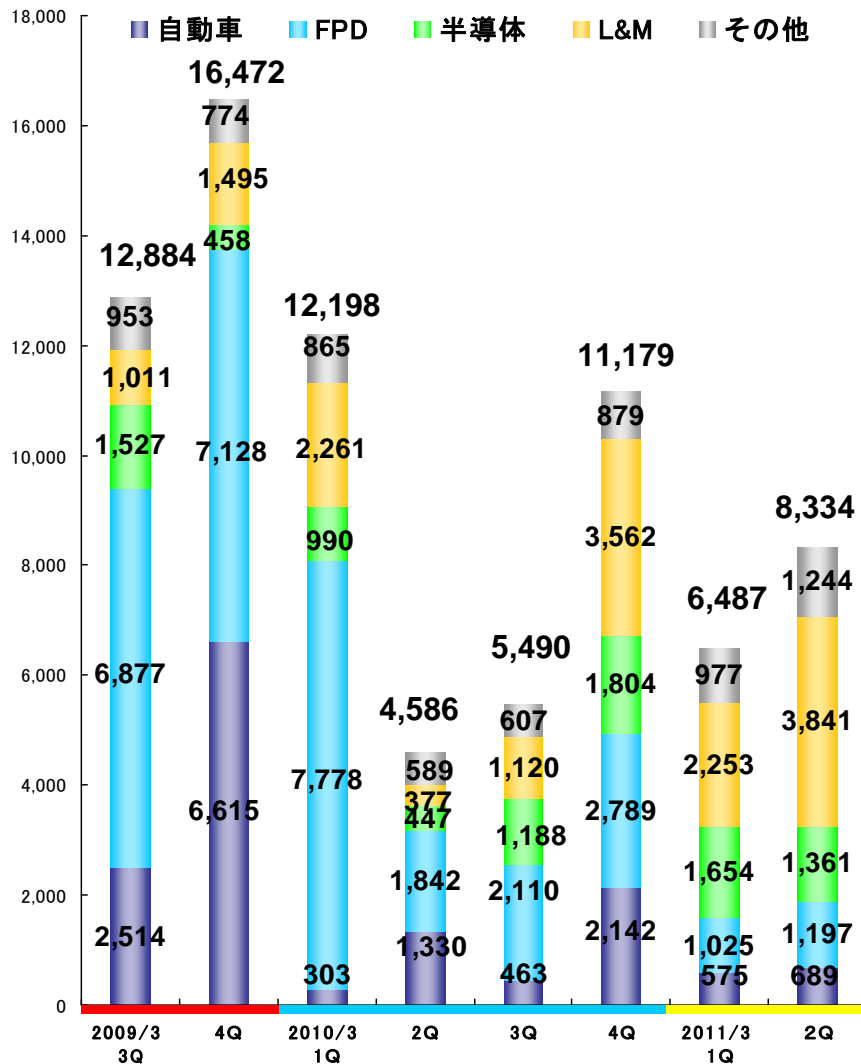
百万円



IV 参考資料 事業部門別・地域別四半期推移(売上高)

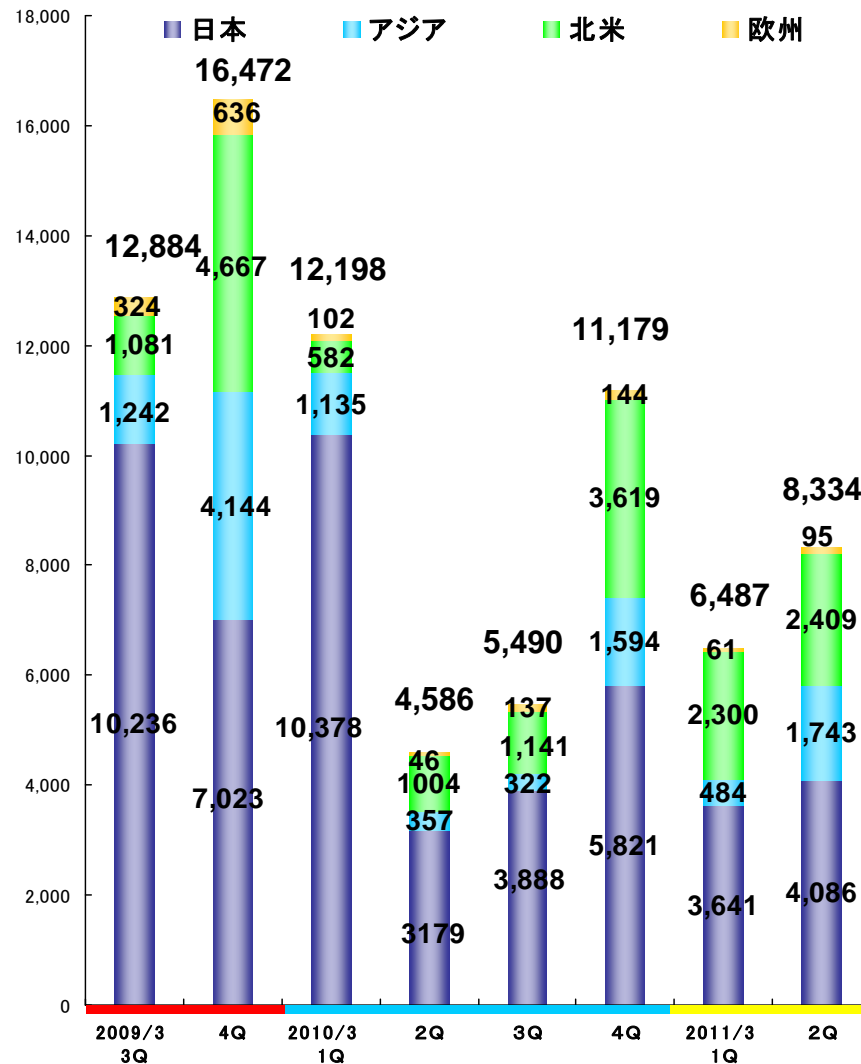
事業部門別四半期売上高の推移

百万円



地域別四半期売上高の推移

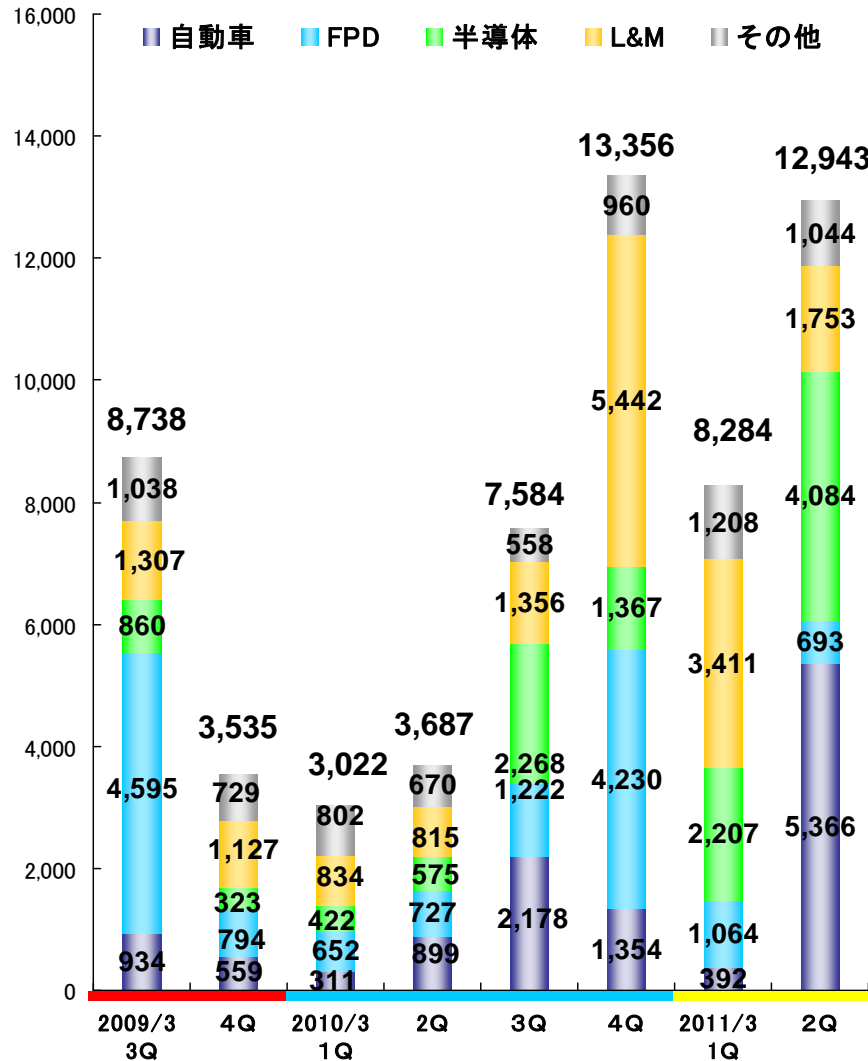
百万円



IV 参考資料 事業部門別四半期推移(受注高・受注残高)

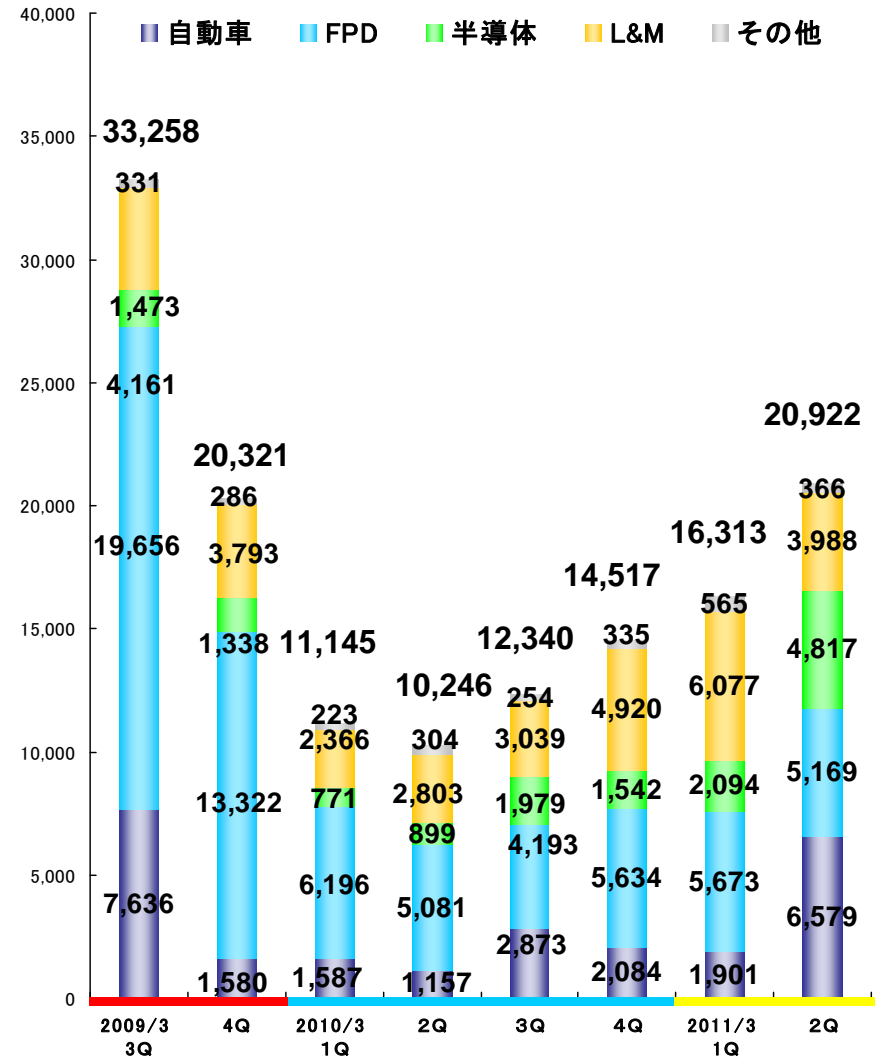
事業部門別四半期受注高の推移

百万円



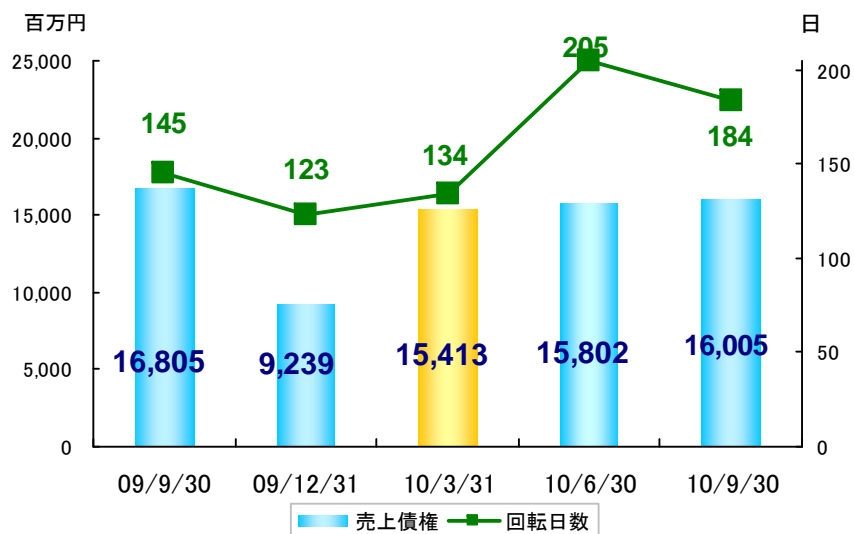
事業部門別四半期受注残高の推移

百万円

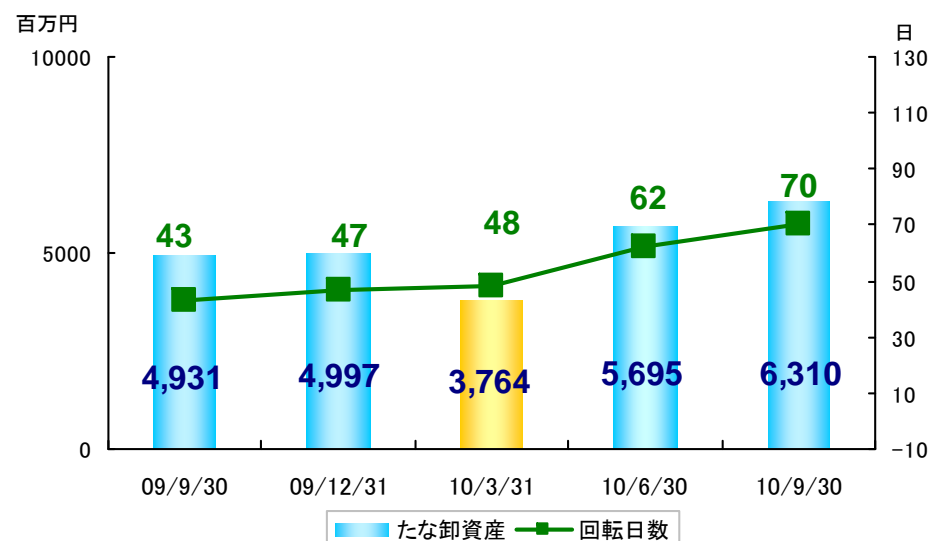


IV 参考資料 主要指標

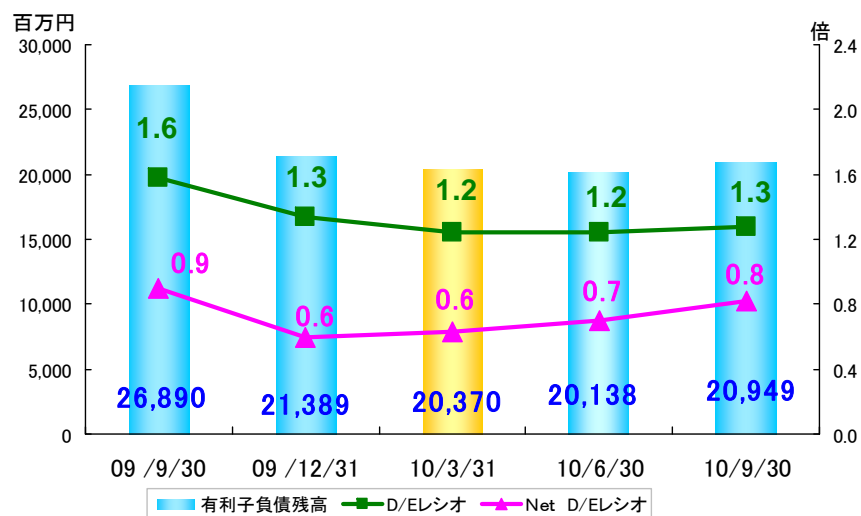
売上債権・売上債権回転日数



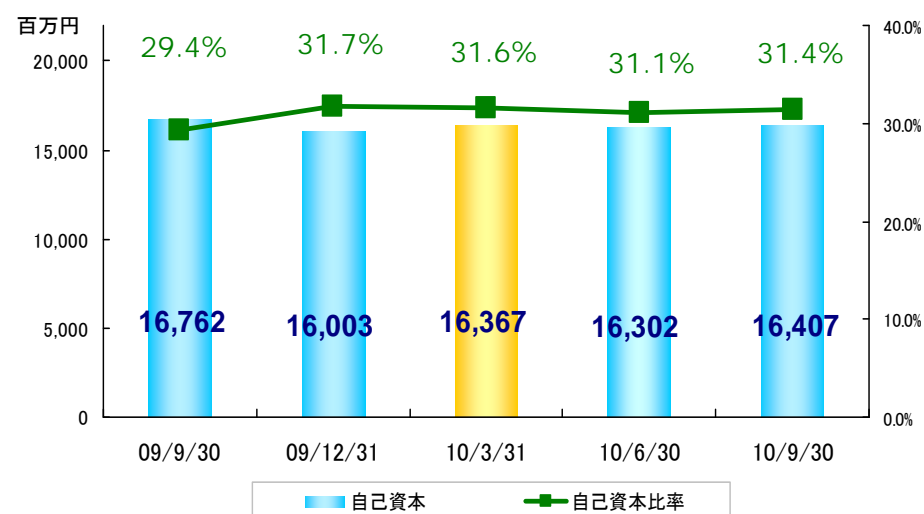
たな卸資産・たな卸資産回転日数



有利子負債残高・D/ELシオ・Net D/ELシオ



自己資本・自己資本比率



注) 売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期の期中平均値にて算出しております。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。